

公益財団法人美術文化振興協会

平成 26 年度 事業報告

平成 26 年度の事業報告については下記の通りです。決算は別紙をご参照ください。

記

I : 「美術文化に関する国際交流」事業

[1] 《ジャパニーズ・アート・プログラム(Japanese Art Program)》

ライデン大学との共同事業である「ジャパニーズ・アート・プログラム」に関し、平成 17 年より派遣事業を実施してきました。平成 26 年度は関出氏（東京藝術大学教授／日本画家）をライデン大学に講師として派遣させて頂き、第 8 回目の講座「墨絵」を実施しました。この実施にあたり、キャノン財団ヨーロッパ、ライデン大学地域研究所（LIAS）から助成を頂きました。

なお、開催時期に関して、平成 26 年度事業として秋期を含め年度内の実施を予定していましたが、派遣先の授業の都合等を考慮し、年度を股がる時期となりました事をご報告します。

<開催概要>

ジャパニーズ・アート・プログラム 2015 『墨絵』

派遣先 : ライデン大学（ライデン／オランダ）

講師 : 関出氏（東京藝術大学教授／日本画）

派遣期間 : 平成 27 年 3 月 29 日（日）～4 月 23 日（木）

プログラム : 全 5 回

- 4 月 2 日（木） 15:00-17:00 イン트로ダクション エイクホフ 2 号館
「墨絵」概説（パワーポイント）、画材・用具の確認
（関出教授、イフォ・スミッツ教授、ミラン・ベルロ通訳）
- 7 日（火） 13:00-15:00 第 2 セッション リプシウス館
「墨・硯・紙・筆による制作導入」
「参考資料：掛幅、画卷、画帖、扇面などの実作例」
（関出教授、イフォ・スミッツ教授、
エバ・マホトカ准教授、ミラン・ベルロ通訳）
- 10 日（金） 13:00-15:30 第 3 セッション エイクホフ 2 号館
「墨・硯・紙・筆による演習」「作品の裏打ち」
（関出教授、イフォ・スミッツ教授、ミラン・ベルロ通訳）
- 14 日（火） 13:00-15:00 第 4 セッション リプシウス館
「墨絵制作」「落款について」
（関出教授、イフォ・スミッツ教授、
エバ・マホトカ准教授、ミラン・ベルロ通訳）
- 17 日（金） 13:00-16:15 第 5 セッション エイクホフ 2 号館
「墨絵制作（色紙、扇面を含む）」
「裏打ち作品のマット装（5 月開催/大学図書館展示）」
（関出教授、イフォ・スミッツ教授、ミラン・ベルロ通訳）

[2] 日本アセアン文化交流事業の発足準備

当財団の設立の経緯を踏まえ、アセアン諸国との文化交流事業の発足に向けて、有志によるリトリート会合なども含め意見交換の機会を設け、その可能性について議論を進めました。また、日本アセアン文化交流事業に関する委員会を設け、委員を選任しました。

Ⅱ：「美術文化に関する研究会・講演会等の開催」事業

[1] 《ジャパニーズ・アート・セミナー (Japanese Art Seminar)》

ジャパニーズ・アート・プログラムの機会と併せ、学外に公開する「ジャパニーズ・アート・セミナー」を実施しました。第3回目となるセミナーであり、今回はライデンにある日本博物館シーボルト・ハウスで開催しました。セミナー後は、在オランダ日本国大使館の後援によりレセプションを行い、ご出席の方々との交流のひとつときを持ちました。

<開催概要>

ジャパニーズ・アート・セミナー

『伝統的な日本画のながれ ― 墨絵を中心に』(技法・材料)

日時 : 平成27年4月21日(火) 15:00-16:30

会場 : 日本博物館 シーボルト・ハウス

講師 : 関出教授(東京藝術大学 日本画)

共催 : 公益財団法人美術文化振興協会(JAPA)、ライデン大学地域研究所(LIAS)

助成 : キヤノン財団ヨーロッパ、日本博物館シーボルト・ハウス、
在オランダ日本国大使館(レセプション)

出席 : 小和田恆名誉会長/公益財団法人美術文化振興協会、
河原節子公使/在オランダ日本国大使館
スージー・コーヘン事務局長/キヤノン財団ヨーロッパ
クリス・スヒールメイヤー館長/日本博物館シーボルト・ハウス
学生、一般、ライデン大学関係者など

[2] 第2回国際木版画会議への助成

平成26年9月10日(水)～14日(日)の間、東京藝術大学をメイン会場に開催された「第2回国際木版画会議」に助成しました。アーティストの視点から材料や技法に焦点を置き、歴史的学術的陳列から解放することで、木版画のユニークさ、面白さを検証し、木版の持つ本質的な魅力に迫る企画。展覧会日程は8月30日(土)～9月28日(日)。

主催 : 東京藝術大学美術学部 第2回国際木版画会議実行委員会

共催 : 国際木版画会議国際委員会

Ⅲ：「美術文化に関する展覧会の開催」事業

[1] ジャパニーズ・アート・プログラム 作品展示

「ジャパニーズ・アート・プログラム」の授業で創作した学生作品を、関出氏の墨絵作品と共に展示するための計画、準備をしました。

IV：「美術文化に関する優れた業績のある者の顕彰」事業

[1] 新顕彰事業 創設準備

新たな顕彰事業の創設にあたり、当財団の使命を掘り下げながら、有志によるリトリート会合なども含め多数の会合を持ち、顕彰事業の名称はじめその内容について議論し、準備を進めてきました。平成 26 年度の実施を予定していましたが、関係者との調整、内容及び広報面の充実等も考慮し、平成 27 年度以降の開催へと時期については調整を図りました。また、顕彰事業実行委員会を設け委員を選任しました。

以上

〈附属明細書の作成について〉

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成していません。

平成27年5月15日

公益財団法人 美術文化振興協会